平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名　株式会社 三條機械製作所　　上場取引所　東
コード番号　6437　URL　http://www.sanjokikai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村田　哲夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社経理部長　(氏名) 西巻　俊雄　TEL 0256-45-3131
四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,364	0.4	134	11.0	191	△4.1	125	6.7
23年3月期第2四半期	5,341	17.3	120	—	199	—	117	298.8

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△21百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　20百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.41	—
23年3月期第2四半期	7.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	15,165	11,199	72.2	733.28
23年3月期	15,242	11,295	72.3	737.75

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　10,950百万円　23年3月期　11,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—			
24年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,432	6.5	487	90.5	623	56.5	428	90.8	28.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	15,058,152 株	23年3月期	15,058,152 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	124,870 株	23年3月期	123,518 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	14,933,992 株	23年3月期2Q	14,938,331 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による深刻な影響も、被災地における復旧の動きに伴い、企業の生産活動は回復傾向で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの業況を申し上げますと、主要な取引先である自動車業界向けの鍛工品事業は、サプライチェーンの復旧に伴い、需要は回復基調で推移しておりますが、第１四半期における自動車メーカーの減産影響により減収となりました。一般機械及び金型の両事業では前年同期の需要低迷の反動もあり、また、客先からの震災復旧需要等により増収となりましたので、連結売上高は5,364百万円（前年同期比0.4％増）となりました。

収益面では主要製品である鍛工品事業は減収により減益となりましたが、一般機械及び金型の両事業の増収を反映し、営業利益は134百万円（前年同期比11.0％増）となりました。経常利益は不動産賃貸料等の計上により191百万円（前年同期比4.1％減）となり、四半期純利益は当社及び一部の国内子会社において雇用調整助成金を、また、連結子会社株式の追加取得を行った事による負ののれん発生益を特別利益に計上いたしましたので125百万円（前年同期比6.7％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①鍛工品

鍛工品は、震災影響による急激な需要低下も、サプライチェーンの復旧が進むにつれ、受注は回復傾向で推移いたしましたが売上高は3,097百万円（前年同期比15.4％減）となり、営業利益は84百万円（前年同期比71.7％減）の計上となりました。

②一般機械

一般機械は、ラベル印刷機械は前年度からラベル印刷需要に下げ止まりや回復の兆しが見えはじめ、高品質、低価格の当社製品への顧客の設備更新の動きは、当四半期累計期間においても継続が見られ、堅調な受注ができましたので増収となりました。たばこ製造用機械並びに同装置は、前年同期の需要一巡による低迷の反動もあり、また、震災復旧需要もあり増収となりました。専用機も同様に増収となりました。一般機械全体では売上高1,603百万円（前年同期比25.6％増）となり、営業利益は増収影響により108百万円（前年同期は営業利益７百万円）となりました。

③金型

自動車業界向けのダイカスト金型は、客先からの震災復旧需要と売上確保の取り組みにより増収となりました。ロータリーダイにつきましても、景気低迷の影響を受け低迷が続いておりました需要に、医薬品業界を中心に動きが見られ、受注を伸ばしましたので増収となりました。金型全体では売上高661百万円（前年同期比70.0％増）となり、営業損失23百万円（前年同期は営業損失170百万円）となりました。

④その他

石油類販売等は売上高86百万円（前年同期比0.2％増）と前年同期並みとなりましたが経費削減により営業利益は５百万円（前年同期比17.7％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は9,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が161百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が250百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、15,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は2,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が145百万円減少したものの、未払消費税等のその他が145百万円、賞与引当金が18百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ０百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が28百万円減少したものの、退職給付引当金が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は11,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が80百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が153百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.2％（前連結会計年度末は72.3％）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,488百万円となり前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は85百万円となりました。これは主に法人税等の支払額が240百万円、たな卸資産の増加額が208百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益の計上が237百万円、減価償却費が229百万円あったことによるものであります。営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ487百万円減少いたしました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は191百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出99百万円、定期預金の預入による支出（純額）86百万円によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ70百万円支出が増加いたしました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は52百万円となりました。これは主に配当金の支払額44百万円によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ０百万円支出が減少いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第２四半期連結累計期間の業績はやや予想を上回りましたが、景気は不透明感を強め、また、タイ洪水の影響は現時点では不明な状況ですので、通期業績予想につきましては、平成23年７月28日に公表いたしました予想は変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,794,602	4,724,373
受取手形及び売掛金	2,384,332	2,417,917
有価証券	239,559	239,652
商品及び製品	216,166	194,574
仕掛品	1,204,445	1,273,569
原材料及び貯蔵品	356,906	518,598
繰延税金資産	139,212	133,590
その他	173,773	179,489
貸倒引当金	△65,294	△65,489
流動資産合計	9,443,702	9,616,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	723,255	695,259
機械装置及び運搬具（純額）	1,141,474	1,082,607
工具、器具及び備品（純額）	103,746	113,509
土地	1,277,389	1,277,389
建設仮勘定	49,876	50,237
有形固定資産合計	3,295,742	3,219,003
無形固定資産	44,961	44,978
投資その他の資産		
投資有価証券	1,253,913	1,002,986
賃貸用不動産（純額）	991,478	984,534
繰延税金資産	204,450	288,455
その他	11,107	11,423
貸倒引当金	△2,372	△2,372
投資その他の資産合計	2,458,576	2,285,027
固定資産合計	5,799,280	5,549,009
資産合計	15,242,983	15,165,287

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,046	2,012,362
未払法人税等	240,538	94,559
賞与引当金	164,429	182,730
受注損失引当金	95,700	110,153
その他	232,790	378,109
流動負債合計	2,760,504	2,777,915
固定負債		
退職給付引当金	886,831	916,274
役員退職慰労引当金	111,686	82,763
環境対策引当金	9,000	9,000
受入保証金	122,027	121,857
資産除去債務	57,145	57,332
その他	388	320
固定負債合計	1,187,078	1,187,547
負債合計	3,947,583	3,965,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,309	1,525,309
資本剰余金	1,149,173	1,149,173
利益剰余金	7,875,232	7,956,003
自己株式	△38,924	△39,170
株主資本合計	10,510,790	10,591,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537,468	383,903
為替換算調整勘定	△30,283	△24,914
その他の包括利益累計額合計	507,185	358,989
少数株主持分	277,424	249,520
純資産合計	11,295,400	11,199,825
負債純資産合計	15,242,983	15,165,287

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	5,341,568	5,364,502
売上原価	4,666,439	4,647,740
売上総利益	675,129	716,761
販売費及び一般管理費	554,195	582,493
営業利益	120,934	134,267
営業外収益		
受取利息	3,430	1,514
受取配当金	10,457	13,676
不動産賃貸料	101,367	103,755
その他	18,240	9,379
営業外収益合計	133,495	128,326
営業外費用		
不動産賃貸費用	50,354	58,101
その他	4,856	13,342
営業外費用合計	55,210	71,444
経常利益	199,219	191,150
特別利益		
貸倒引当金戻入額	101	－
補助金収入	76,257	33,086
その他	1,215	－
負ののれん発生益	－	19,438
特別利益合計	77,574	52,525
特別損失		
固定資産除却損	3,346	2,352
投資有価証券評価損	－	3,873
環境対策引当金繰入額	9,000	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48,708	－
特別損失合計	61,054	6,226
税金等調整前四半期純利益	215,738	237,449
法人税等	86,723	112,474
少数株主損益調整前四半期純利益	129,015	124,974
少数株主利益又は少数株主損失（△）	11,365	△600
四半期純利益	117,649	125,575

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	129,015	124,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,667	△153,564
為替換算調整勘定	△21,595	6,972
その他の包括利益合計	△108,262	△146,592
四半期包括利益	20,752	△21,617
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,353	△22,620
少数株主に係る四半期包括利益	6,399	1,002

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	215,738	237,449
減価償却費	243,091	229,702
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,200	△28,923
退職給付引当金の増減額（△は減少）	27,079	29,442
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,711	18,247
受注損失引当金の増減額（△は減少）	68,500	14,453
貸倒引当金の増減額（△は減少）	160	194
受取利息及び受取配当金	△13,888	△15,191
固定資産除却損	3,346	2,352
投資有価証券評価損益（△は益）	－	3,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48,708	－
売上債権の増減額（△は増加）	△23,560	△30,389
たな卸資産の増減額（△は増加）	△280,887	△208,329
仕入債務の増減額（△は減少）	218,440	5,456
その他の資産の増減額（△は増加）	32,073	16,538
その他の負債の増減額（△は減少）	45,487	35,468
小計	604,201	310,345
利息及び配当金の受取額	13,866	15,183
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△45,618	△240,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,449	85,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△215,065	△288,133
定期預金の払戻による収入	242,024	201,485
有価証券の取得による支出	△12,990	△12,996
有価証券の償還による収入	13,000	13,000
有形固定資産の取得による支出	△149,530	△99,975
賃貸用不動産の取得による支出	△2,838	△143
投資有価証券の取得による支出	△2,220	△2,377
その他	6,869	△2,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,752	△191,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△558	△246
配当金の支払額	△44,544	△44,534
少数株主への配当金の支払額	△7,619	△7,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,722	△52,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,314	1,383
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	393,659	△157,386
現金及び現金同等物の期首残高	3,682,069	4,645,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,075,728	4,488,538

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。